



資料 2

各圏域別の状況について (区中央部)

東京都地域医療構想アドバイザー

一橋大学 経済学研究科

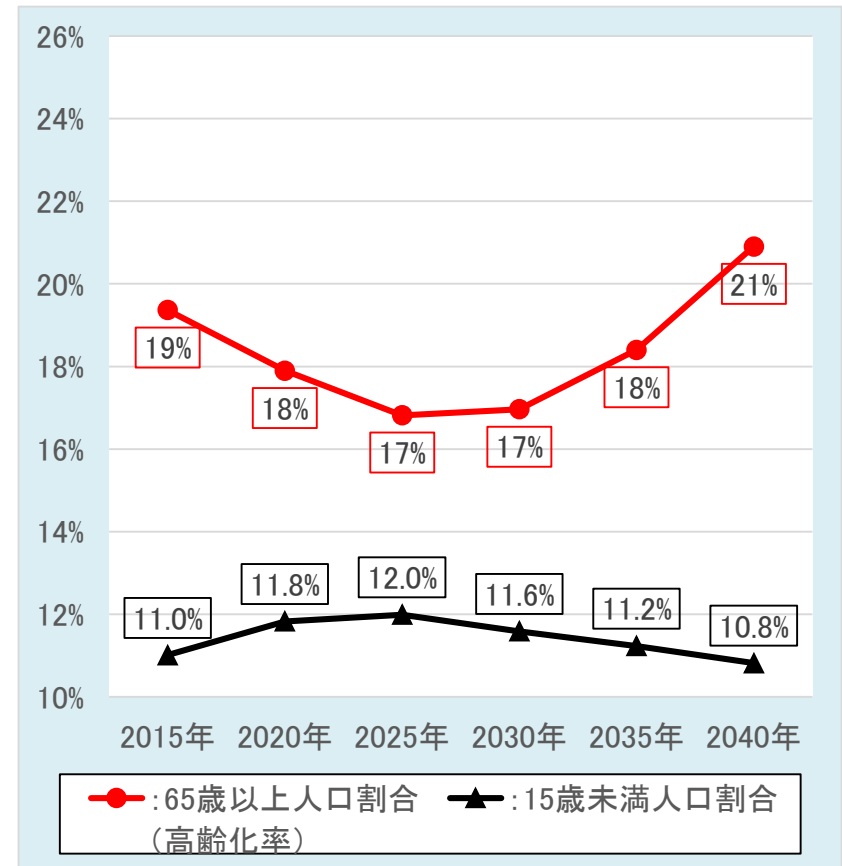
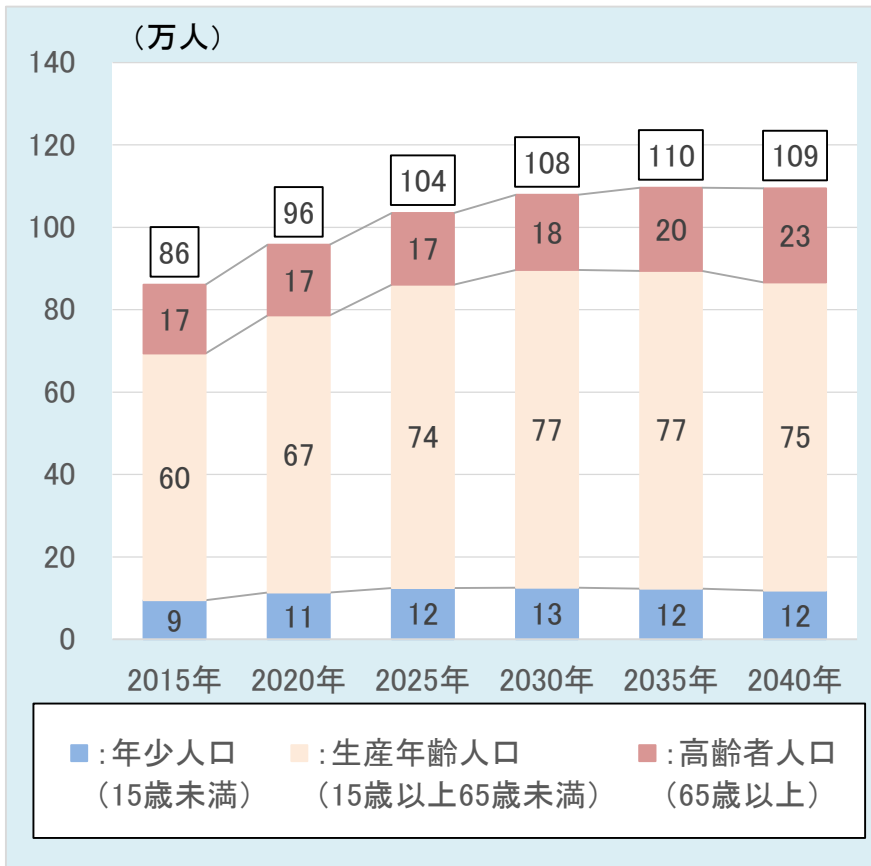
高久 玲音

高橋 雅生



人口動態

- 区中央部では高齢化率が2030年で17%
 - 人口増：96万人（2020年）→ 109万人（2040年）

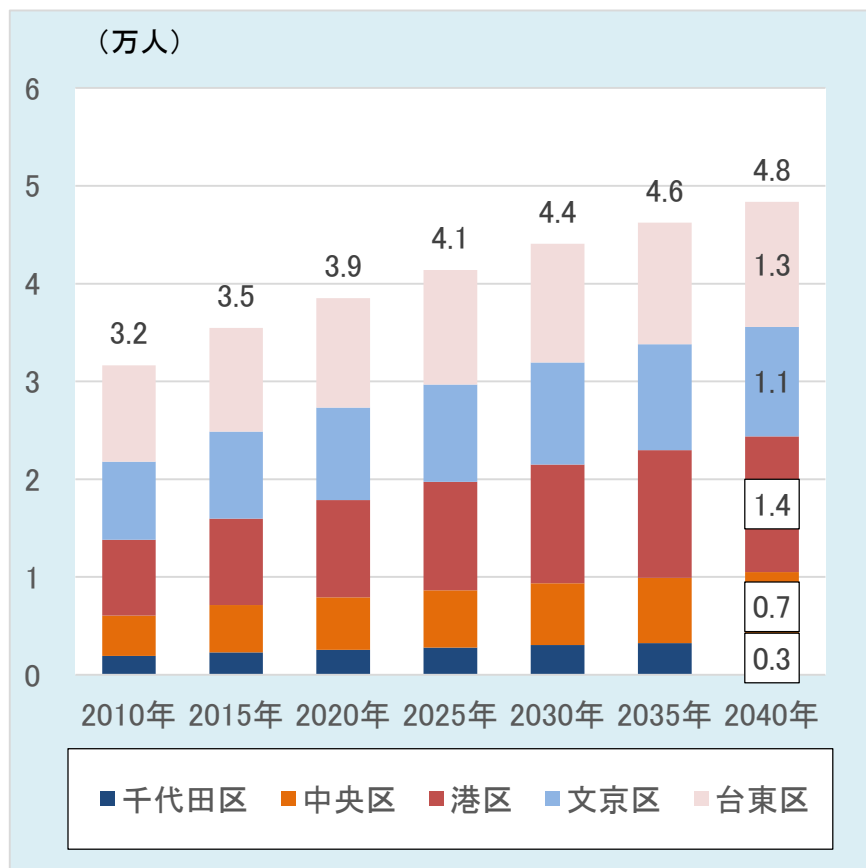


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)

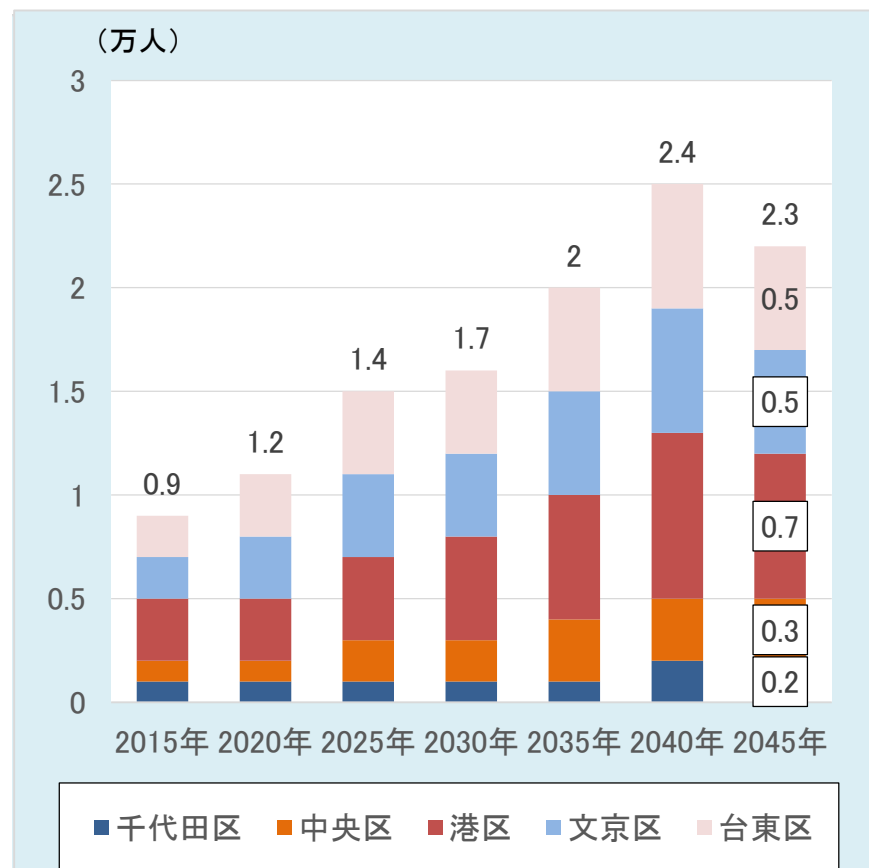
超高齢化の動向

- 死亡者数、90歳以上人口は2040年にかけて増加

＜死亡者数＞



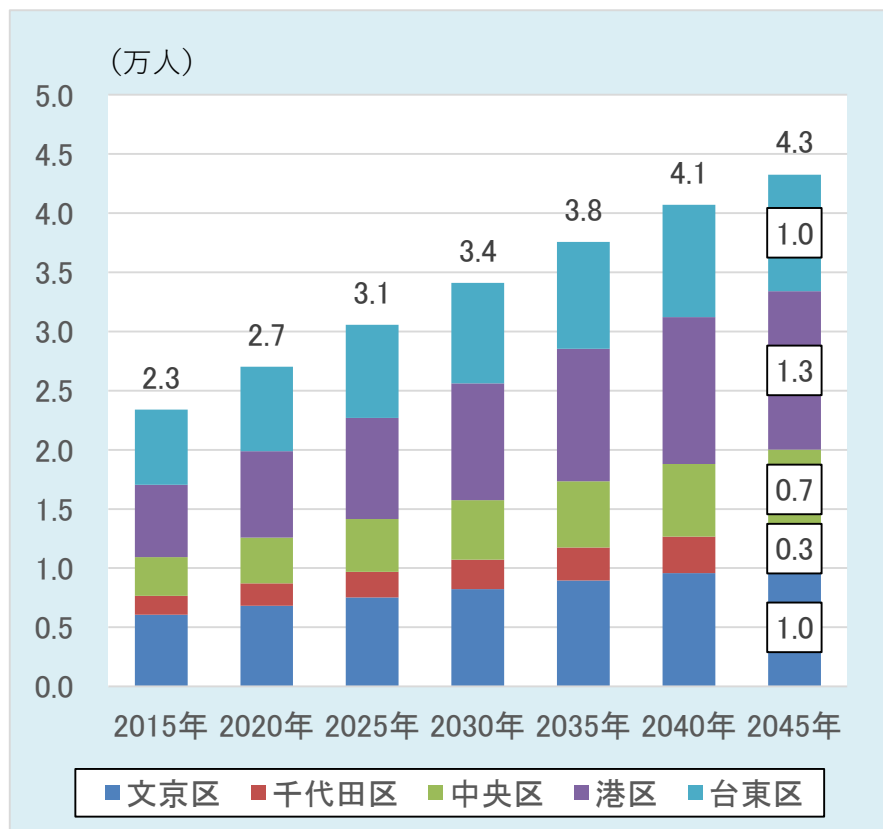
＜90歳以上人口＞



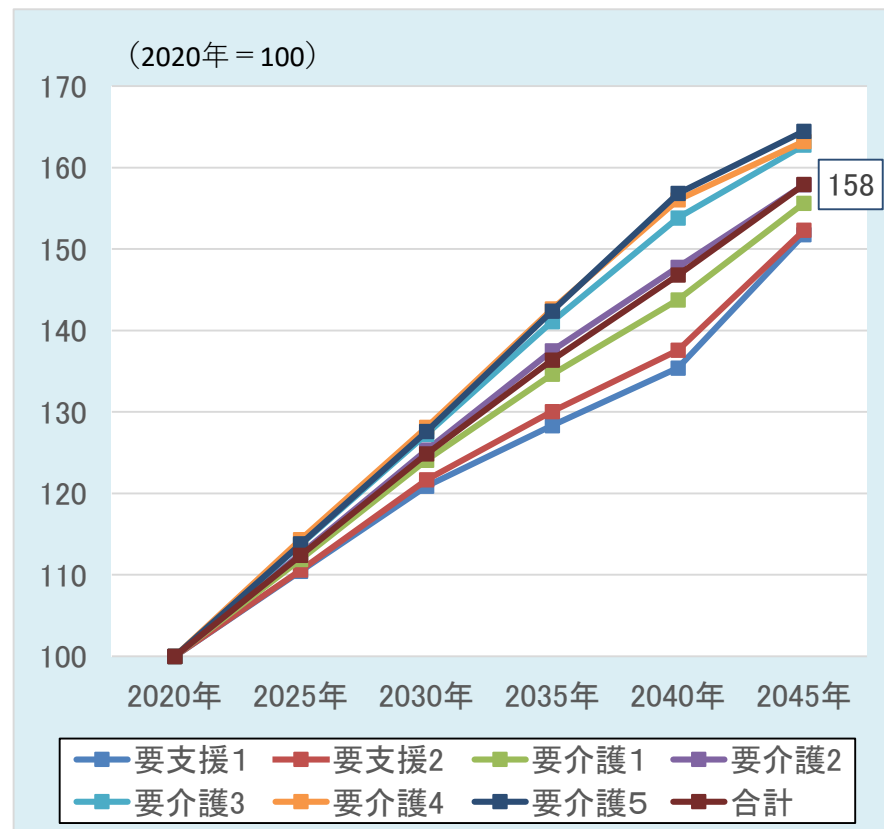
要介護認定者数の将来推計

- 2045年の要介護認定者数は58%増

＜区別要介護認定者数＞



＜要介護度別認定者数＞

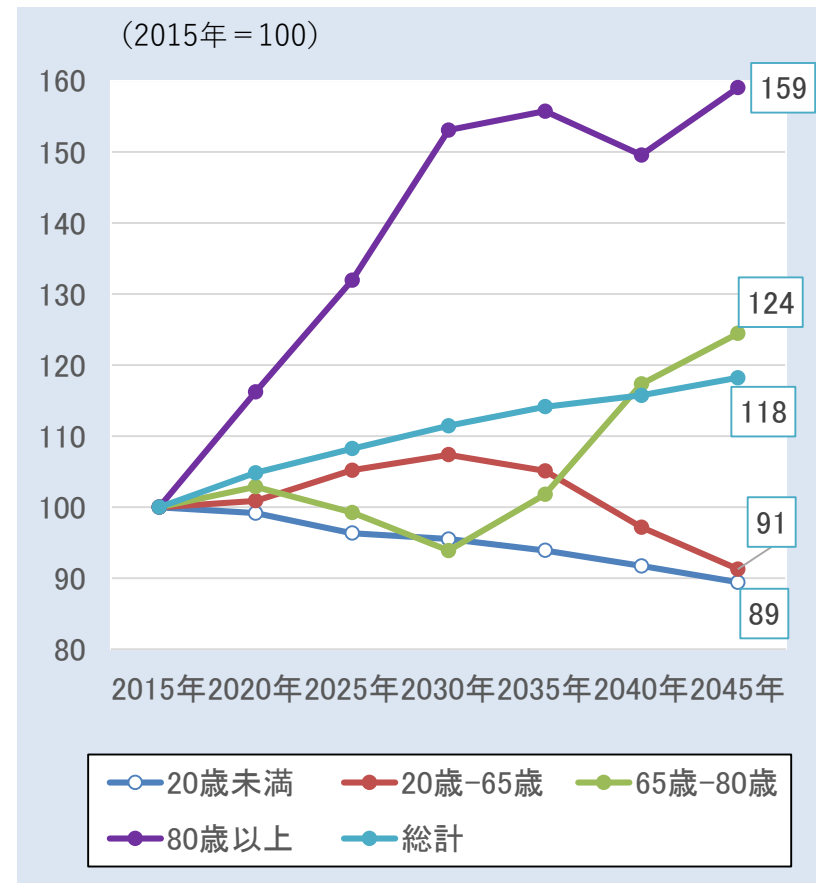
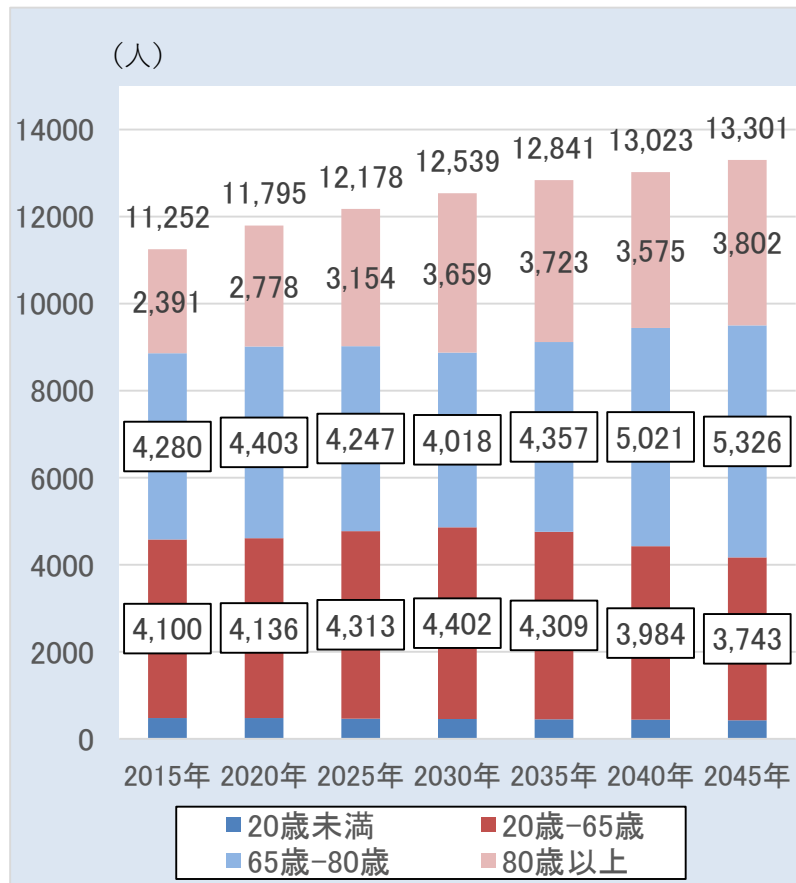


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び厚生労働省「介護保険事業状況報告」(平成30年度)から推計。



入院患者数の将来推計（年齢別）

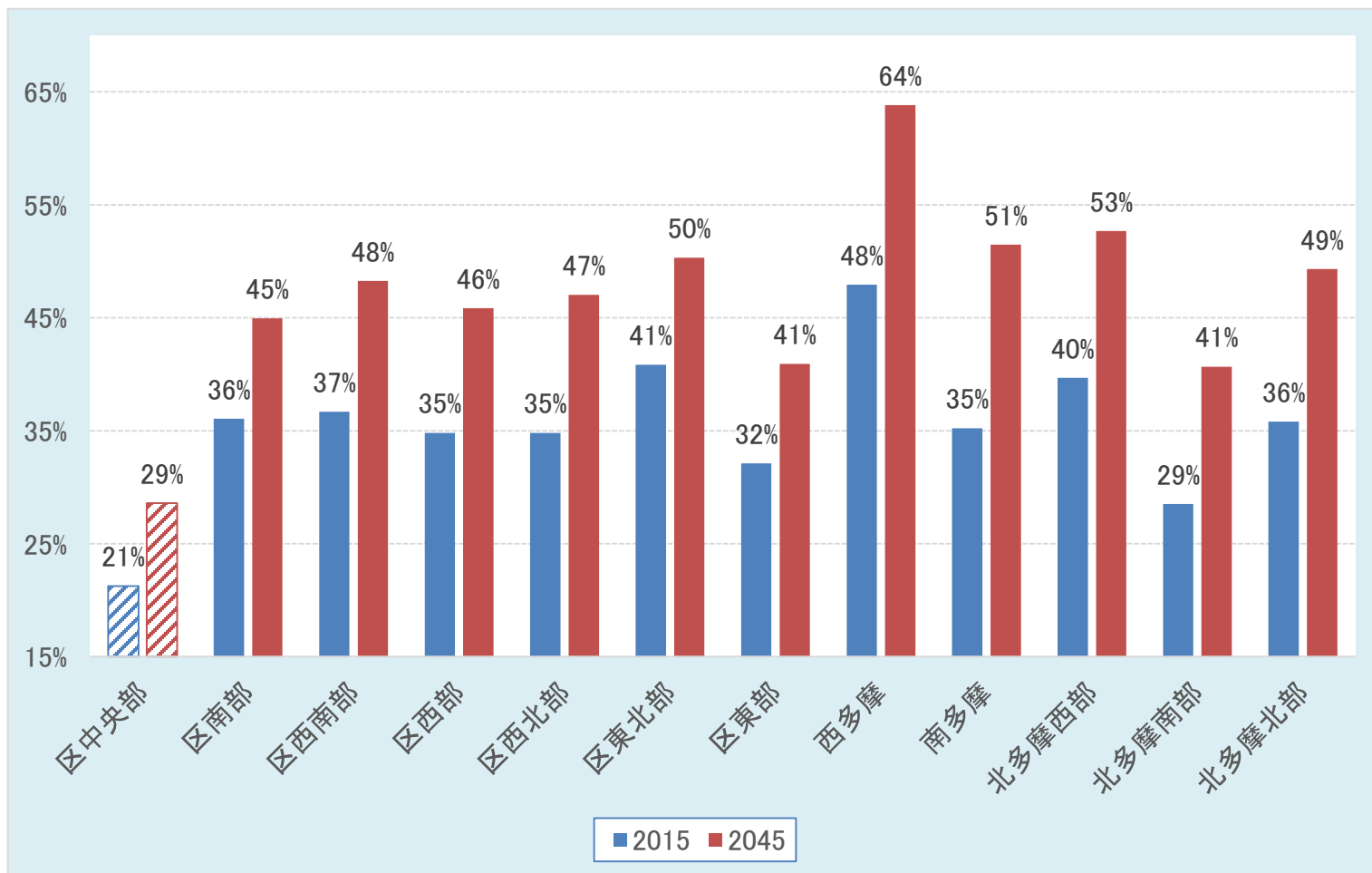
- 2045年にかけて80歳以上の入院患者が59%増加



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」（平成31年3月）及び患者調査（平成26年度）から推計。

80歳以上の入院患者割合

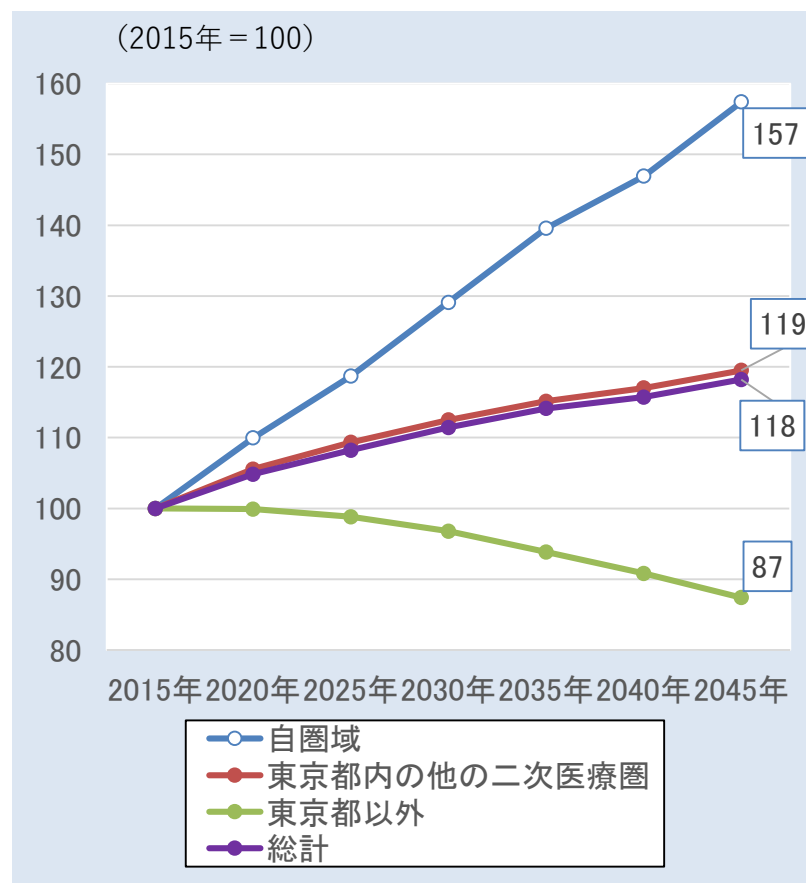
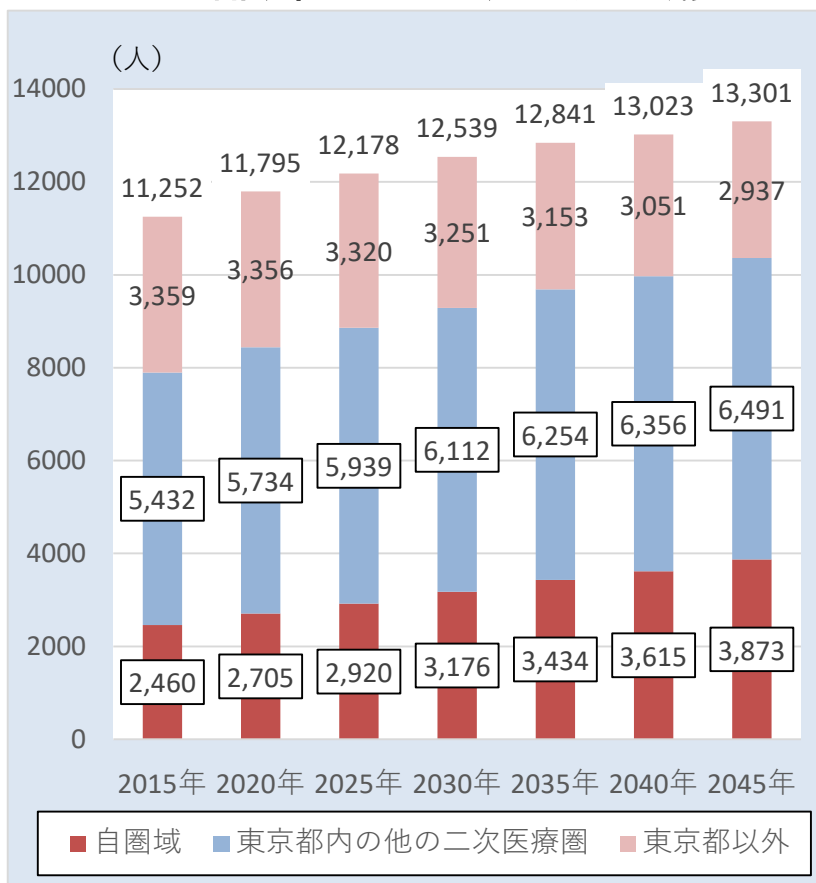
- 80歳以上の入院患者は21%から29%へ増加



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。

患者住所地別の将来推計

- 自圏域の患者数（21%:2015年）が57%増加
 - 都外からの流入は減少



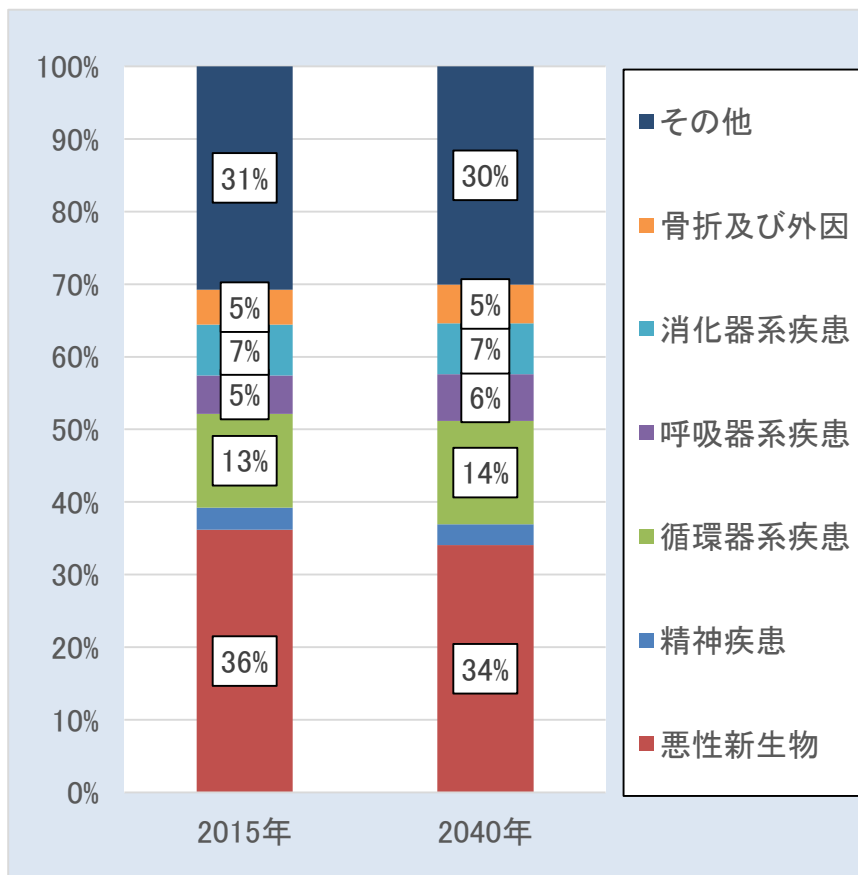


疾病種別の将来推計

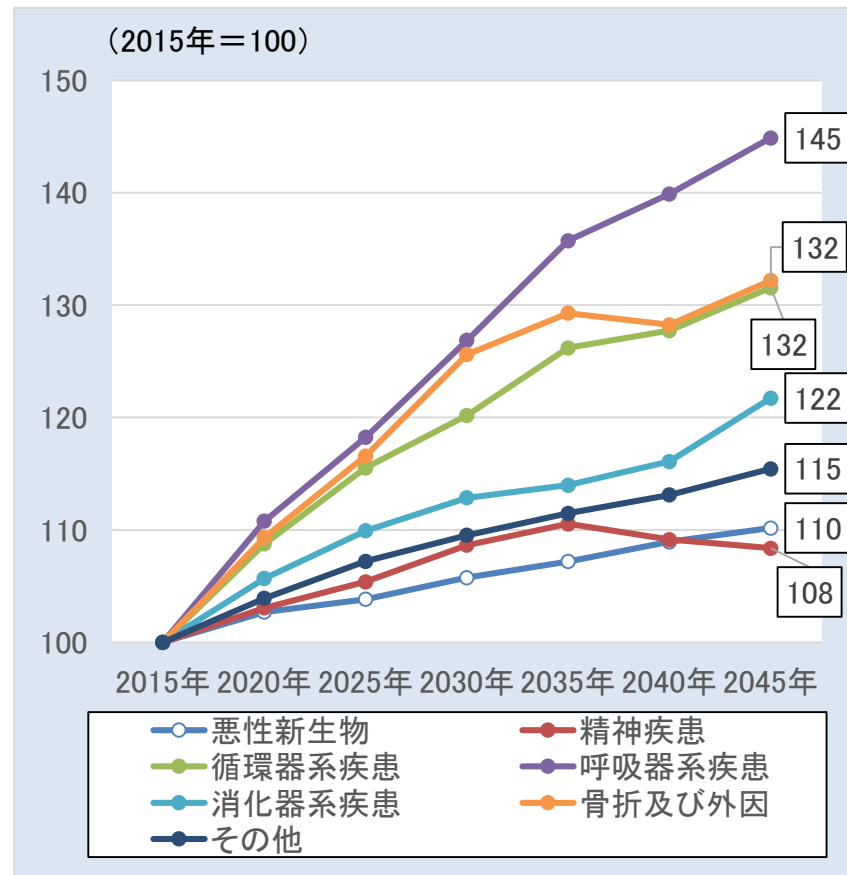
• どの疾病でも患者数は増加

- 悪性新生物の患者シェアは低下、一方で呼吸器・循環器の患者シェアが増加

＜2015年と2040年の患者シェア＞



＜疾病別入院患者数＞



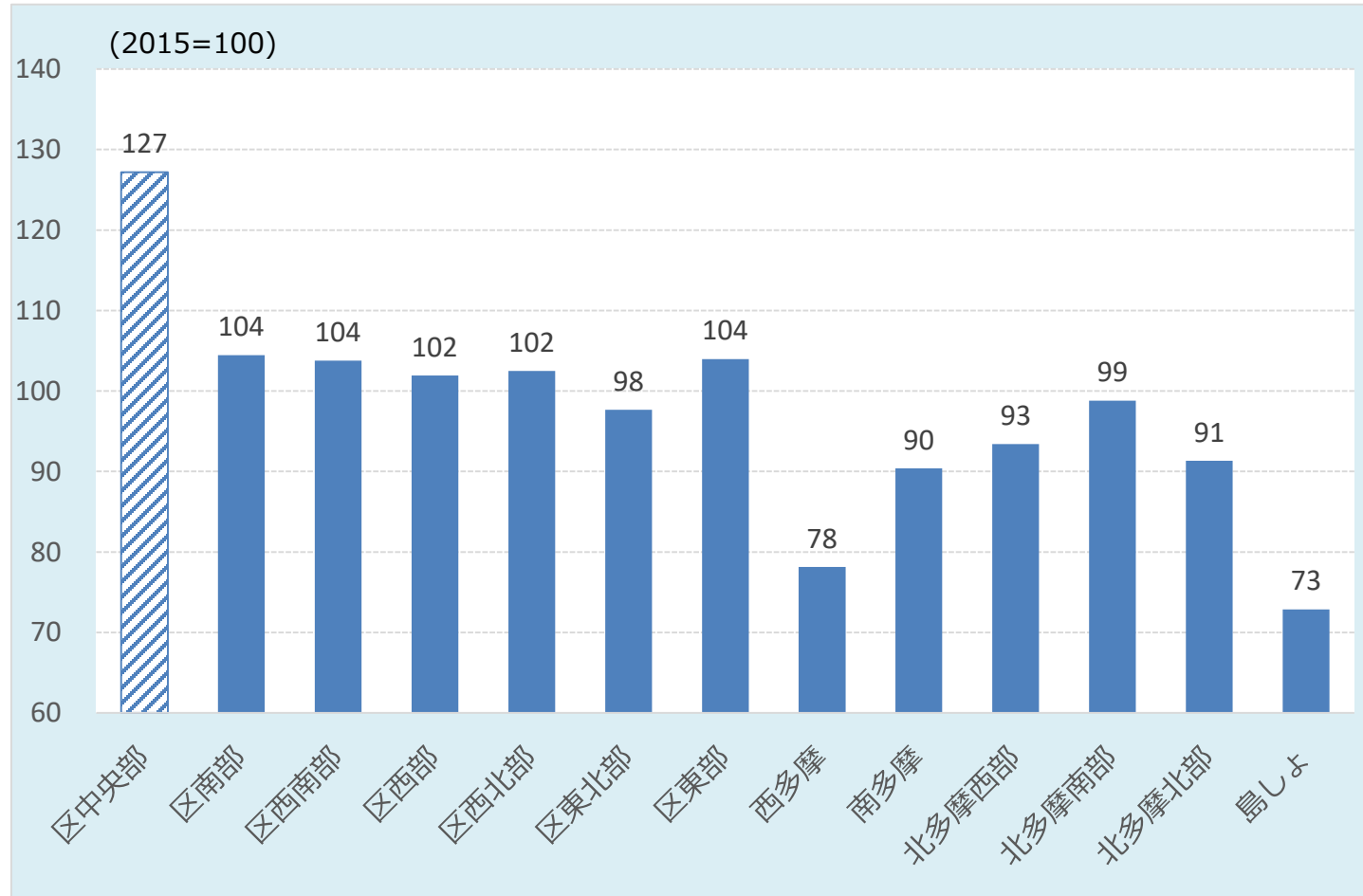


ポイント

- 他地域と比較して入院患者数の増加率は小さい
- どの疾病でも患者数は増加
 - 悪性新生物の患者シェアは低下
 - 呼吸器・循環器の患者シェアが増加
- 入院患者数は80歳以上で増加
 - 2045年には29%の入院患者が80歳以上
- 2045年にかけて自圏域の患者が57%増加
 - 要介護者数も増加

人口総数

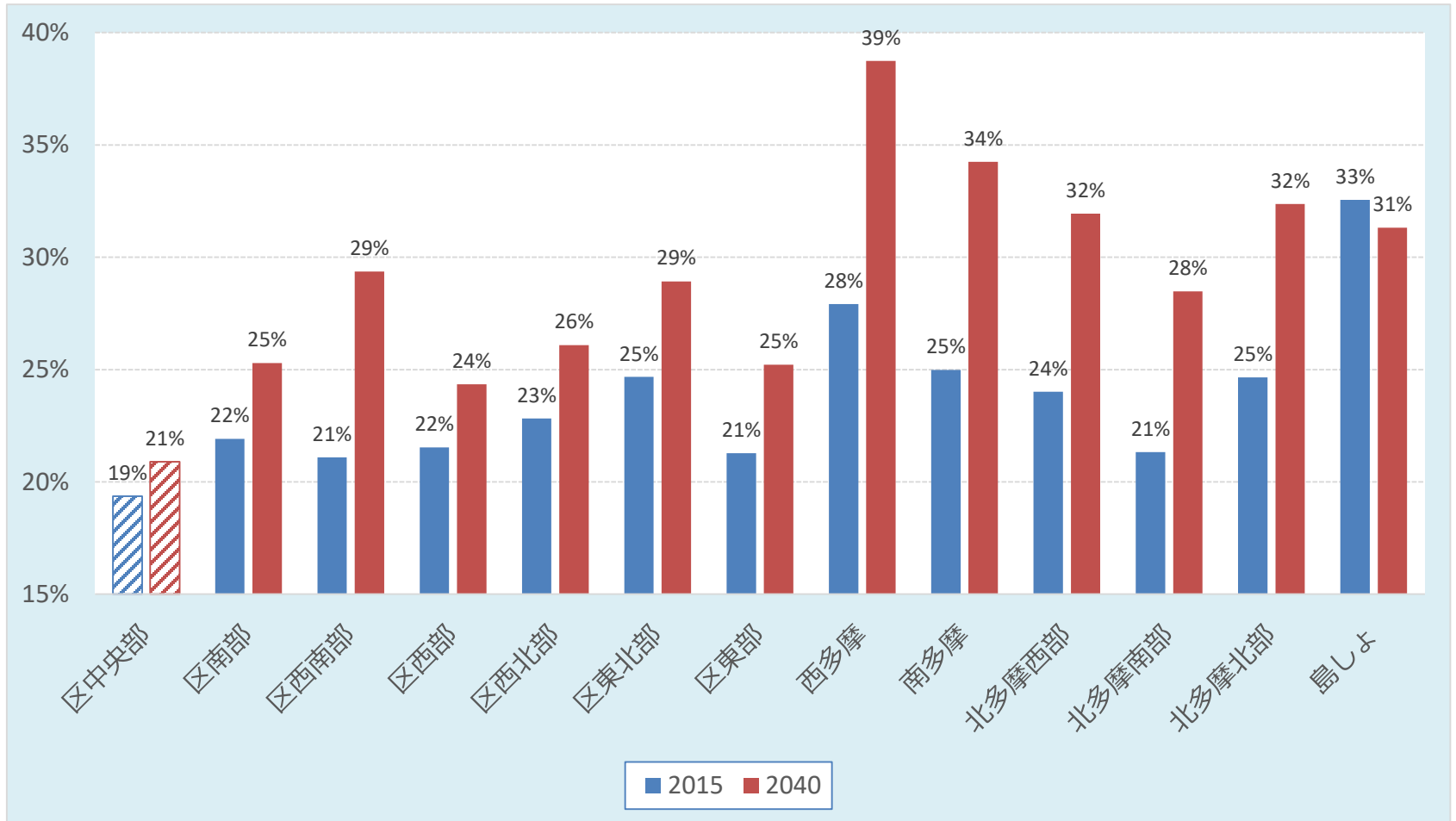
<2040年の人口：2015年対比>



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



高齢化率

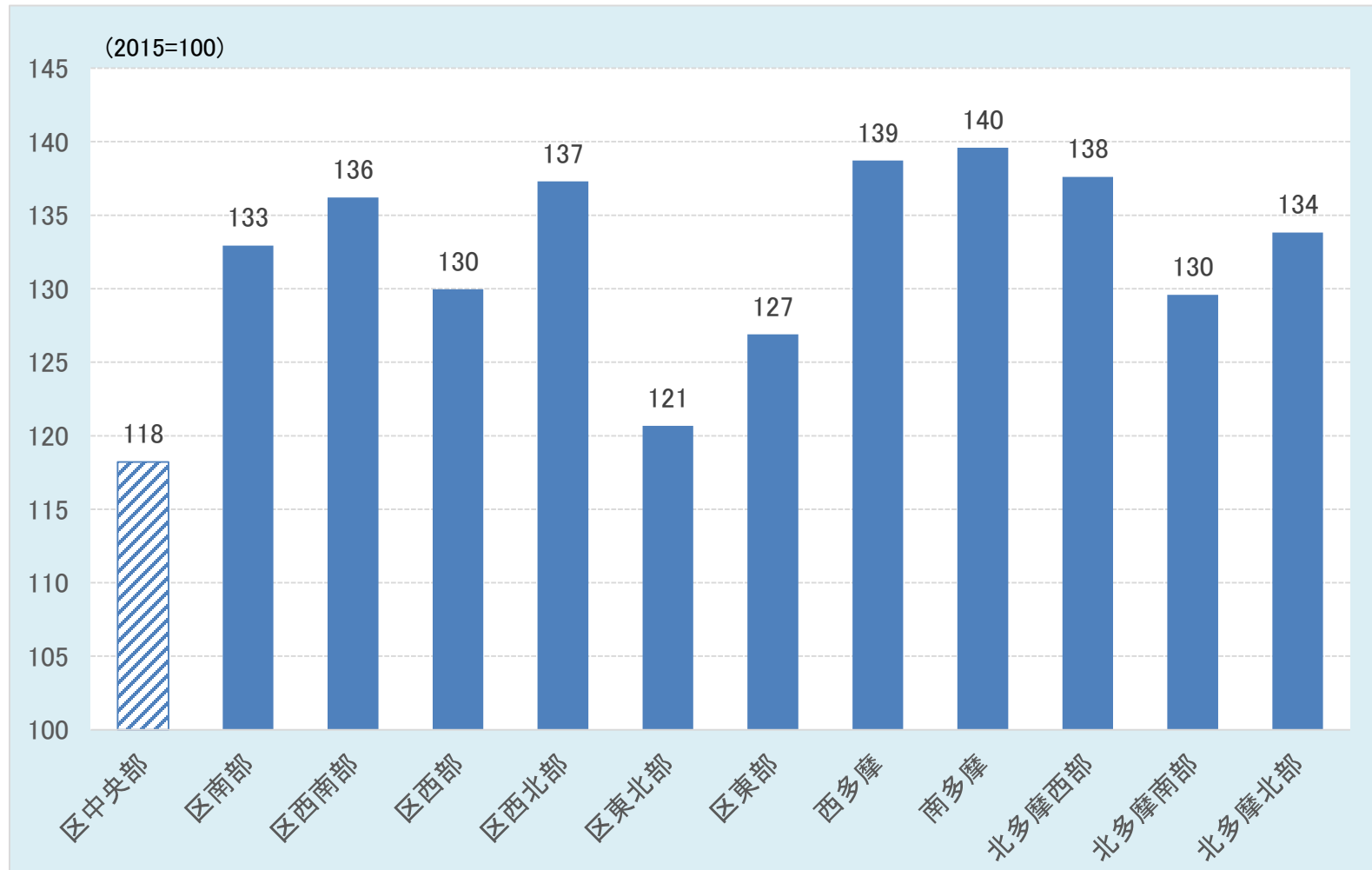


(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)



入院患者総数：2045年

<入院患者総数：2015年対比>



(出所) 東京都総務局「東京都世帯数の予測」(平成31年3月)及び患者調査(平成26年度)から推計。



入院患者数の将来推計の方法

- A) 患者調査（平成26年度）の調査票情報を用いて入院患者数を5歳階級別・患者住所地別・疾病別に推計
- 患者住所地は①推計対象となる二次医療圏、②①以外の東京都内、③他都道府県、の3種別で推計
 - 疾病はICD10をもとに7種類（e.g., 循環器、呼吸器）
 - 年齢は0~5歳など19階級
- B) Aで推計した患者数について、推計対象となる二次医療圏への流入率を推計
- 流入率 = 推計対象となる二次医療圏への流入患者数 / 患者総数
- C) Aで推計した入院患者数を人口当たりに換算し、入院患者の発生率を年齢別に一定と仮定して将来人口推計で2045年まで延伸。
- D) Cで推計された将来にわたる入院患者数に対して、推計対象となる二次医療圏への流入率を掛け合わせて、各二次医療圏の入院患者数を算出